

# 不登校対策の鍵を握る情報共有システム

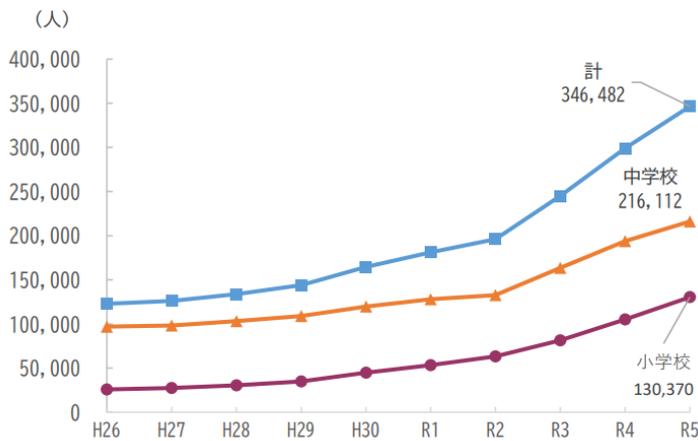
## 支援者をつなぎ、子どもへの寄り添いを“見える化”

富士通Japan株式会社

小・中学校の不登校児童生徒数は34万人、11年連続増加。円滑な情報共有こそ、喫緊の課題解決の鍵。ICTを活用し、教育委員会主導で不登校対策を強化しませんか。

### 教育現場で起きている課題

日本の公立小中学校における不登校児童生徒の数は年々増加傾向にあり、令和6年度には過去最多を記録しました。不登校の要因は家庭環境、友人関係、学業への不安など多岐にわたり、一人ひとりに応じたきめ細やかな対応が求められています。



【文部科学省】「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」より抜粋

しかし、現場では教職員の多忙化が進み、子どもたちの状況を把握するための十分な時間が確保できていないのが現実です。また、関係機関や保護者との情報共有が紙や電話に依存しているため、迅速かつ的確な支援体制の構築に課題を抱えています。

このような状況下で、不登校対策を強化し、早期支援を実現するには、効率的で効果的な情報共有と意思決定を支えるICTシステムの導入が不可欠です。教育現場の負担を軽減しつつ、子どもたちに最適な支援を届けるための新たなアプローチが今、求められています。

### ご提案

教育委員会、学校、スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）が連携し、児童生徒の状況をリアルタイムに把握できる情報共有システムをご提案します。

### システム導入のメリット

- 児童生徒の状況をリアルタイムに把握し、迅速な対応が可能に。
- 関係機関との連携がスムーズになり、情報伝達の遅れを防ぐ。
- 過去の事例やノウハウを共有し、効果的な対策を立案できる。
- 業務効率化により、教職員の負担を軽減。



### 児童生徒のサポートのための情報共有サイクル 教育委員会との連携





### 顧客課題

- ・児童生徒の支援記録、SC・SSWの業務報告書を紙ベースで作成、確認、保存、共有しているため、処理が煩雑
- ・関係者間での情報共有がFAXやメール・電話で行われ、手間や時間がかかる

### 導入効果

- ・帳票類は紙への印刷が不要に。印刷や保管の手間が減った。
- ・関係者間での情報共有がシステムで可能になり、FAXや電話、メールでの確認が不要になった。
- ・不登校の兆候を早期に発見し、迅速な対応ができるようになった。

### お客様の声

- ・従来の紙ベースや個々の担当者による管理では、必要な情報を探すのに時間がかかったり、情報が最新でない場合があったりすることがありました。
- ・システムを活用することで、関係者全員が最新の情報にアクセスでき、迅速かつ効果的な対応が可能になりました。



主要機能	詳細
お知らせ掲示板	新着情報や支援に関する重要なお知らせを掲載。
児童生徒プロフィール管理	児童生徒の氏名・学年・連絡先などの基本情報に加え、支援に必要な属性情報を一元管理。
支援対応の記録	SC・SSWと担当教員間の連絡・共有内容の記録 ※支援の継続性や他職種連携を見据えたドキュメンテーション機能。
日報の記録	SC・SSWの日報を記録。訪問状況、会議出席、ケース対応の有無など、日々の活動を定量・定性的に記録し、報告・振り返りに活用。

※ その他の機能：情報収集シート・個別の支援計画・スケジュール管理/会議・学校訪問等の日程調整機能  
メッセージ機能/実績・統計/研修資料共有

### 安心してご利用いただけるよう、セキュリティ対策も万全です。

通信の暗号化やアクセス権限の厳格な管理など、学校・教育委員会・支援機関の皆さまが安全にご利用いただける環境を整えています。

教育委員会様での導入実績あり。課題解決に貢献します。

### もっとできる！ICTシステム活用の可能性

#### AI活用による業務効率化

事務作業の自動化からデータ分析まで、AIが教職員の負担を軽減し、児童生徒に向き合う時間を創出します。

業務効率化で、より質の高い教育を実現しませんか？



#### 専門コンサルタントによる業務改善提案

教育現場の課題を熟知した専門コンサルタントが、貴委員会の状況を分析し、最適な業務改善プランをご提案します。組織全体のパフォーマンス向上を支援します。



2025年7月版

## お問い合わせ先

### 富士通Japanお客様総合センター

0120-835-554 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:30  
(土日祝日・富士通Japan指定の休業日を除く)

富士通Japan株式会社  
〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)

